



THE Y'S MEN'S CLUB OF TSU

TSU Y'S MEN'S CLUB, 2488 KOUBE TSU, MIE 514-0065
CHARTERED 1992 TEL 059-227-2392 FAX 059-227-2392



"TO ACKNOWLEDGE THE DUTY THAT ACCOMPANIES EVERY RIGHT!"

2009年11月

主題

国際会長	「一つとなる力」	会長	薦田正男
アジア地域会長	「一つとなる力」	副会長	千賀直道
西日本区理事	「全ての命を大切に」	書記	千賀直道
中部部長	「ワイズの理念を胸に、自信をもって活動しよう」	会計	佐脇弘康
クラブ会長	「レッ津 ゴー Y津」	直前会長	薦田正男

今月の聖句

「わたしたちは聞いたことにいっそう注意を払わねばなりません。そうでないと、押し流されてしまいます。」
ヘブライ人への手紙 2章 1節

11月第1例会案内

日時 11月14日(土) 18時30分～
会場 アスト津 3F 交流広場

開会点鐘
ワイズソング
会長挨拶
今月の聖句
祈祷
報告・連絡事項
協議事項
チャリティーウォークの件
12月例会を四日市クラブとの合同例会にする
閉会点鐘
会場移動 懇親会



素晴らしい出会い

10月31日～11月1日第16回YMCA大会に参加しました。全国から青年・ワイズメンYMCAスタッフ総勢140名が東山荘に集い実践報告や夢を語り合う大会でした。四日市の栗原君がどうしても会いたいと言っていた熊本の小山君に出会ったのです。小山君と話をしている時に出身はと尋ねたところ近江八幡とのこと、近江学園の話になり津在住の本弘氏の話をしたらファミリーでお世話になったとの事早速帰って本弘氏にその話を伝えたら大変喜んでくださり昔の写真を取り出し見せていただきました。Yが取り持つご縁に驚きました。

上期会費の納入をお願いします
第3銀行 津駅西支店 普通口座
2137391 ツワイズメンズクラブ

在籍	第1例会	第2例会	メイクアップ	出席率	ファンド
4名	3名	名	名	75%	¥72,000

中部EMCセミナー



10月25日(日)名古屋YMCA会議室
廣井西日本区EMC事業主任を迎えて
中部EMC推進委員会が中心になって運営
有意義な会になりました。

秋の根の上まつり

10月12日(祝)根の上を愛する会主催
名古屋地区および県外より参加
ワイズ関係者と家族の人たちでにぎやかに
楽しみました。



チャリティーウオーク

三重YMCA主催 四日市・津ワイズ協催
11月23日(祝)目的地 聖宝寺
Aコース 三岐鉄道 西野尻駅～聖宝寺(往復)
Bコース 三岐鉄道 西藤原駅～聖宝寺
A, Bコース共10時～11時の間にスタート
目的 HIV/エイズ感染予防活動を支援する。

国際協力募金

12月6日(日)14時～15時30分
近鉄四日市駅周辺 ワイズメンの協力を!!!

YMCAたより

- 11月22日 津野外活動
- 11月23日 チャリティーウオーク
- 12月6日 国際協力募金 四日市

[甲子園の土]

プロ野球も最終段階になり目が離せないようですね。今日は高校野球児が甲子園から持ち帰る土について調べてみました。高校野球で、熱闘むなしく敗れてチームのメンバーがしゃがみこみ甲子園の土を袋に詰めて持ち帰るシーンは涙をそそる。最初に土を持ち帰った選手は誰だったか?これについては1937年(昭和12年)、惜しくも決勝で敗れた熊本工業高校の川上哲治選手(のちに巨人軍)がその人といわれています。甲子園の土は、黒土と砂をブレンドしたもので、今では母校に持ち帰るのがすっかり定着し、夏の大会だけで8トンも減ってしまうとか。1塁側アルプススタンドの屋内練習場に、予備の土が山ほど盛ってあり、試合が終了するごとに補充しているそうです。今のように持ち帰りが根付いたのは1958年(昭和33年)の夏の大会で沖縄の高校として初めて出場した首里高校がきっかけだそうです。黒土は三重県鈴鹿市や鹿児島鹿屋、鳥取県大山などの土だそうです。

いざたて

- いざたて ころあつくし
手をあげ ちかいあらたに
われらの モットーまもる
ふさわし その名 ワイズメン
絶えせず めあて望み
この身を 捧げつくさん
- 歌えば 心ひとつに
ともがき ひろがりゆきて
遠きも 近きも皆
捧げて たつやワイズメン
栄えと 誉れ豊か
誠は 胸にあふれん